

一般社団法人静岡県設備設計協会

平成26年度第3回理事会次第

日 時：平成26年12月12日（金）

午後4時～

場 所：ホテルアンビア松風閣

1 開会

2 会長挨拶

3 定足数確認

4 議 事

＜決議事項＞

第1号議案 創立50周年記念事業について

＜報告事項＞

(1) 「設備設計関係協会全国会長会議」報告について

(2) 会員の入会について

(3) 委員会報告について

(4) 地区会報告について

(5) 協会経理について

(6) その他

・ ゴルフ部会の幹事交代について（会費補助）

・ 協会ホームページの「会員紹介」について

・ 忘年会（本日開催）について

5 閉会

創立50周年記念行事について

開催日 平成27年11月20日(金)

会 場 ホテルアソシア静岡

＊開催日と会場については第2回理事会で、開催日は第一候補11月20日(金)、第二候補11月6日(金)、会場はアソシア又はセンチュリーで価格の安い方とする旨を決議されていたので、双方のホテルの予約状況、見積書を比較し決定した。

検討事項

- 1 実行委員会の立ち上げについて
 - ・実行委員会を中心に記念行事の準備を進めることとし、委員会の立ち上げについて、委員長の決定及び各係を正会員で分担をする。
- 2 来賓名簿について

40周年時の来賓名簿を参考に作成したので、これをたたき台として検討する。
- 3 事前の案内状について

来賓の案内状を出す前に、県知事と静岡市長には事前に開催日をお知らせして当日のスケジュール調整をして頂く。
- 4 協会旗について

法人名の変更に伴い、新しく協会旗を作成し50周年記念式典の時に使用したい。作成の可否の検討をする。
- 5 収支予算書(案)について

会場のホテルアソシアからの見積りと40周年の収支決算書を基に作成した。今後の検討により項目・金額の変更の可能性がある。
- 6 表彰規程(案)と表彰予定者について

永年に亘って、建築設備業の推進と協会の発展に寄与された会員に対し、表彰を行いたい。規程を作成し、該当者を表彰する。

創立50周年記念事業における準備特別委員会の設置について

[趣旨] 次年度（平成27年11月）に開催が決定しました創立50周年記念事業について、準備特別委員会を設置し、記念事業計画（案）を作成し、今年度中に理事会へ提出する。

[委員会メンバー]

委員長 山森 繁

委 員 甲斐裕士 後藤利基 計3名

[予算]

通信・交通費 30,000円（委員会開催は2～3回を予定）

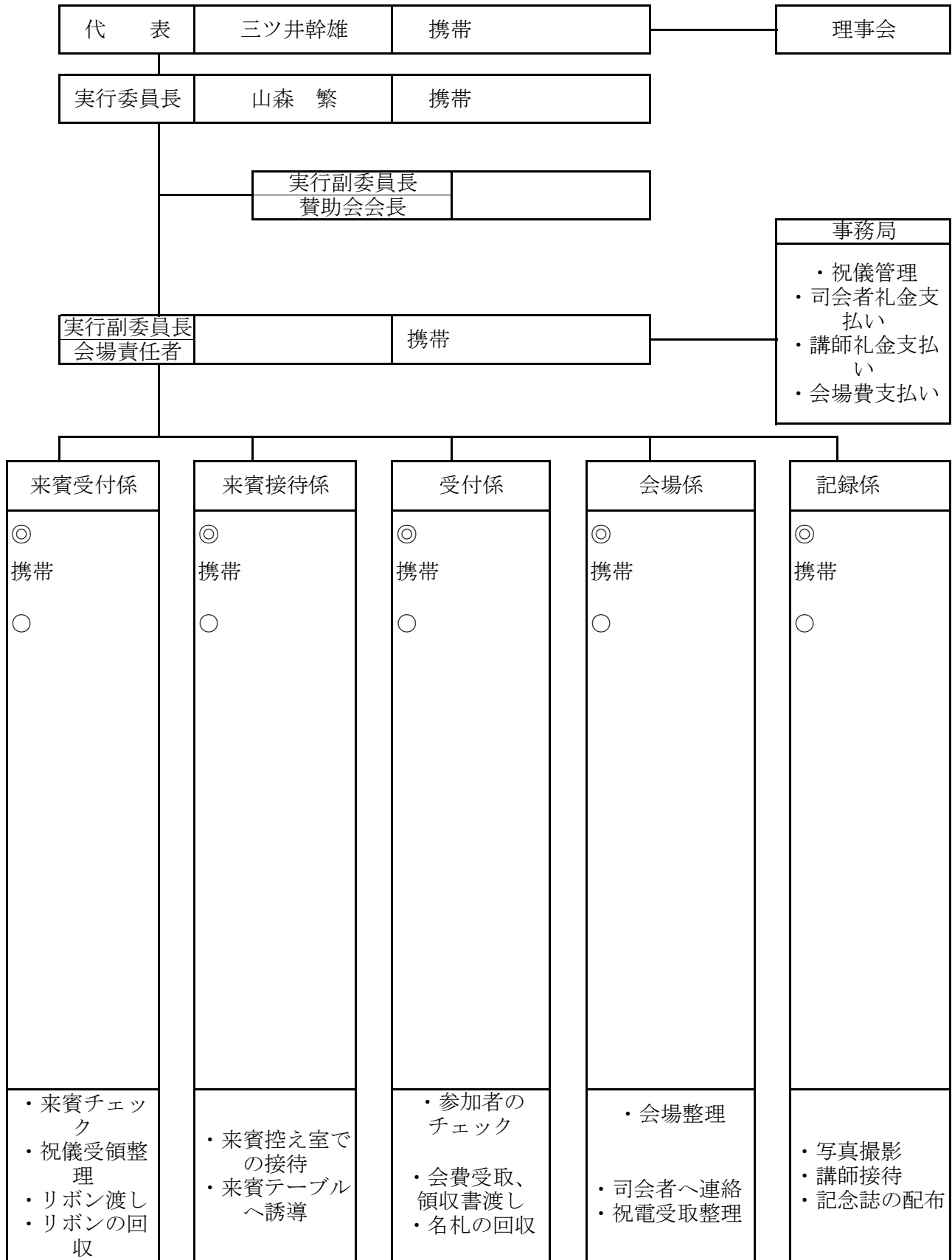
会議諸費用 20,000円

計 50,000円

[その他] 計画（案）はあくまでも参考資料とし、次年度の理事会で修正・補足後決定されるものとするが、日程等特別なものについては変更不可とする。

作成者 山森 繁

創立50周年記念行事組織表



(註) ◎は代表、○は副

2. 創立50周年記念行事

来賓名簿（敬称略）（案）

所 属	氏 名	式典出席	講演出席	祝賀出席	泊	リボン大・中
○ 静岡県知事	川勝 平太					大
○ 静岡県議会議長	多家 一彦					大
○ 国会・県議会議員						
顧問静岡県議会議員	天野 一					大
○ 静岡市長	田辺 信宏					大
○ 国土交通省						
中部地方整備局営繕部整備課長	稲垣 億作					大
中部地方整備局静岡営繕事務所長	神原 治之					大
○ 静岡県						
経営管理部部長	下山 晃司					大
経営管理部財務局局長	川和田 篤					大
経営管理部財務局設備課課長	稲葉 洋幸					大
経営管理部財務局設備課技監	黒柳 正巳					大
経営管理部財務局設備課課長代理	石田 高久					大
経営管理部財務局設備課設備技術班班長	石川 達也					大
経営管理部財務局設備課電気班班長	内山 武志					大
経営管理部財務局設備課機械班班長	石川 雅士					大
○ (一社) 日本設備設計事務所協会						
会 長	西田 能行					大
○ 講師						
						大
○ 都道府県協会						
(一社) 愛知県設備設計監理協会会長	村上 正継					中
三重県設備設計事務所協会会長	伊藤 憲司					中
岐阜県設備設計事務所協会会長	松尾 仁					中
(一社) 山梨県設備設計事務所協会会長	田口 和人					中
(一社) 福井県設備設計事務所協会会長	松山 憲雄					中
(一社) 石川県設備設計監理協会会長	村島外三雄					中
富山県設備設計事務所協会会長	吉田 光喜					中
(一社) 長野県設備設計協会会長	岡宮 清吉					中
(一社) 新潟県設備設計事務所協会会長	渋谷 周策					中
○ 関係団体						
(公社) 静岡県建築士会会長	佐藤 博行					中
(一財) 静岡県建築住宅まちづくりセンター理事長	青山 巖					中
(一社) 静岡県建築士事務所協会会長	遠藤 正幸					中
(一社) 建築設備技術者協会中部支部静岡支所長	岡野 公彦					中
(一社) 静岡県設備協会会長	山本 忠史					中
(一社) 日本建築学会東海支部静岡支所長	渋谷 信明					中
(公社) 日本建築家協会東海支部静岡地域会会長	村松 篤					中
静岡設計監理協同組合理事長	高田 雅司					中
静岡県水処理協会会長	大石 憲義					中
静岡県電気工事工業組合理事長	松田 良克					中
静岡県消防施設業協会会長	杉山 和幸					中
(一社) 静岡県冷凍空調工業会会長	鳥波 益男					中
(一社) 静岡県フロン回収事協協会代表理事	鳥波 益男					中

	所 属	氏 名	式典出席	講演出席	祝賀出席	泊	リボン大・中
	(一社)静岡県管工事工業協会会長	三輪容次郎					中
	(一社)静岡県浄化槽協会理事長	加藤 敬規					中
	(一社)日本CATV技術協会静岡県地区支部長	小杉 定男					中
○	報道関係						
	(株)建通新聞社代表取締役	山地 忠雄					中
	(株)建通新聞社静岡支社長	生松 満昭					中
	静岡新聞社社長	大石 剛					中
○	諸先輩						
	第3代会長	山下 高明					中
	第4代会長	小池 敏和					中
	第5代会長	塩澤 千尋					中
	元理事	小柳 克彦					中

平成26年12月吉日

(案)

〔 静岡県知事
川勝 平太 様 〕

又は

〔 静岡市長
田辺 信宏 様 〕

一般社団法人 静岡県設備設計協会
会 長 三ツ井 幹雄

3. 協会創立50周年記念行事の事前お知らせ

謹啓 師走の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は昭和40年4月に発足し、以来、建築設備等の知識の普及啓発及び情報の提供、建築設備等の技術に関する調査研究等を行い地域社会の発展に寄与することを目的に活動して参りましたが、来年度は創立50周年を迎える事となりました。

これもひとえに長年にわたるご指導ご高配の賜物と深く感謝いたしております。

つきましては、平成27年11月20日（金）に創立50周年記念行事を開催したいと存じます。詳細につきましては、改めてご案内申し上げますので公務ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご来臨賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

謹白

4. 協会旗の作製について

法人名の変更に伴い、新しく協会旗を作成し50周年記念式典に使用したい。

現在ある協会旗は「社団法人静岡県設備設計協会」となっているので「一般社団法人静岡県設備設計協会」の協会旗作製を了承願いたい。

サイズ 縦70センチ×横100センチ

生地 綿

色 濃紺に白文字

デザイン 中央に協会のマーク、下段に協会名

価格 21,600円（税込）

提案者 事務局 市川

御 見 積 書 (見積第

号)

26 年 11 月 11 日

No. _____

一般社団法人

受渡期日 年 月 日

静岡県設備設計協会 様

受渡場所

貴 年 月 日付第 号御照会の件

取引方法

下記のとおり御見積申し上げます

有効期限

〒420-0024 静岡市葵区中町15番地

① 飯田 旗 店

電話 (054) 253-0680

FAX (054) 253-0858

担当:

飯田 勝信

飯田 勝洋

税込合計金額

21,600-

税率

8 %

消費税額等

1,600-

備考

摘要	数量	単価	金額 (税抜・税込)
1 会旗 (140x100cm. 天竺. 特色1色)	1 枚		20,000-
2 L#-. 140x. 100			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
合 計			21,600-

5. 平成27年11月20日創立50周年記念行事
収支予算書(案)

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	金 額	備 考
祝 儀	290,000	(来賓等)
		日設協 1名 10,000
		他県協会 9名 90,000
		関係団体 16名 160,000
		報道関係 3名 30,000
		計 29名 290,000
会 費	1,390,000	正会員 29名 290,000
		賛助会員 110名 1,100,000
		計 139名 1,390,000
協会会計より計上	1,247,840	
収入合計	2,927,840	168名 1,680,000

2. 支出の部 (単位:円)

項 目	金 額	備 考
記念品代	75,000	来賓50名×@1,500 75,000
		計 75,000
ホテルアソシア静岡	2,524,340	料理200名×@5,940 1,188,000
		寿司200名×@1,080 216,000
		フリードリンク200名×@2,600 520,000
		会場費 291,600
		音響、照明、吊看板、席札 90,040
		コンパニオン15名×@14,580 218,700
		計 2,524,340
その他	328,500	表彰関係(記念品、丸筒、表彰状用紙、リボン等) 110,000
		タクシー代、駐車代等 10,000
		次第用紙代 6,500
		司会者寸志 30,000
		講師謝金 50,000
		来賓用はがき、切手 15,000
		封筒 14,000
		来賓関係(リボン、ラベル用紙、バッグ) 21,000
		来賓二次会費 60,000
		日設協会長交通費 12,000
		計 328,500
支出合計	2,927,840	
収支差額	0	

一般社団法人 静岡県設備設計協会 御中

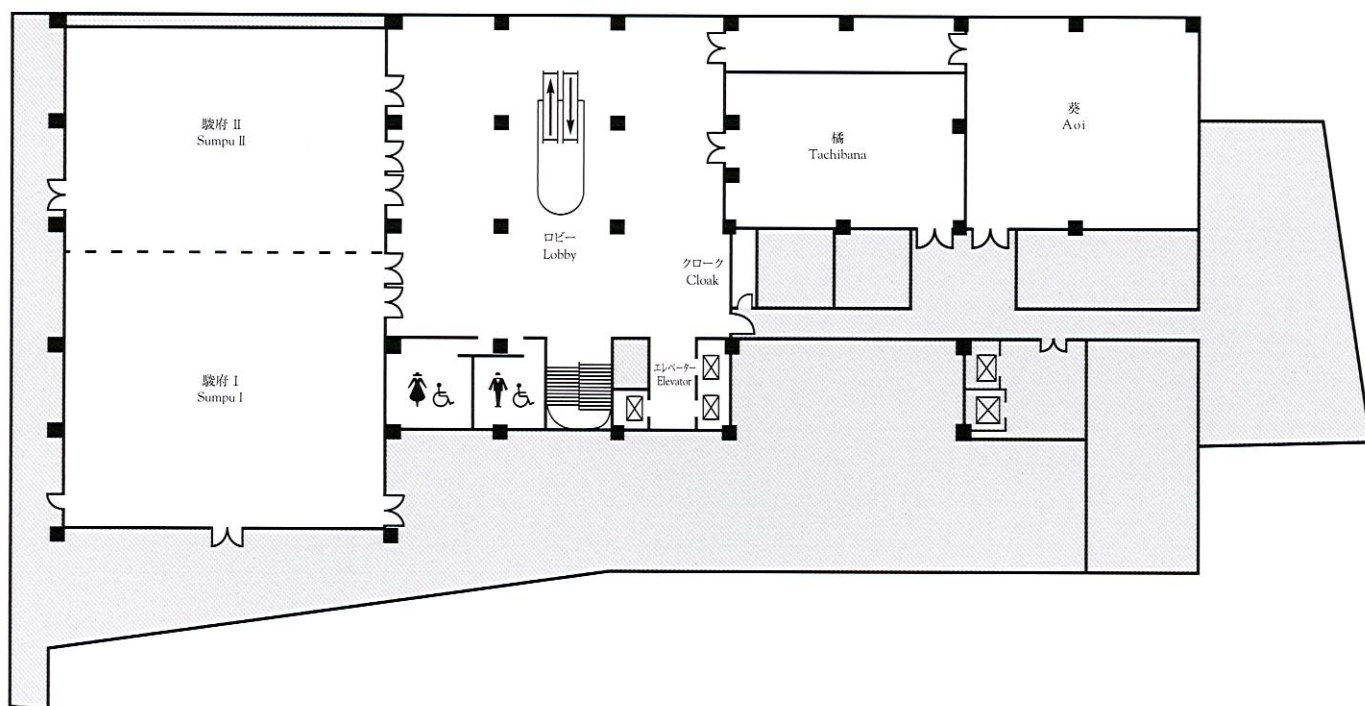
このたびは、お引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
御見積は下記の通りでございますので、何卒ご用命賜りますようお願い申し上げます。

イベント名： 設立50周年式典&懇親会
期 日： 平成27年11月20日(金)
会 場： ホテルアソシア静岡
人 員： 200名様

観光庁長官登録旅行業第850号
株式会社ジョットツーリスト 裾野営業部
静岡県裾野市御宿1500 矢崎総業㈱内
TEL:055-965-3111
FAX:055-965-0466
旅行業務取扱管理者 流石 秀二

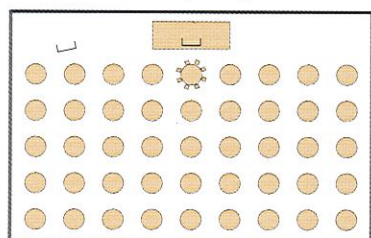
項 目	単 価	数 量	小 計	備 考
【式典：約2時間】				
会場費	190,300	1 室	190,300 円	3階 駿府の間:280㎡
音響照明基本料	21,600	1 室	21,600 円	
吊看板	35,640	1 式	35,640 円	
席札	164	200 名	32,800 円	
【懇親会：約2時間】				
会場費	101,300	1 室	101,300 円	3階 駿府の間:370㎡
お料理	5,940	200 名	1,188,000 円	
お寿司	1,080	200 名	216,000 円	
フリードリンク	2,600	200 名	520,000 円	ビール、酒、焼酎、ウイスキー、 ワイン、ソフトドリンク
パーティコンパニオン	14,580	15 名	218,700 円	2時間
【ご宿泊】				
ご宿泊代	10,000	20 室	200,000 円	シングル 1泊朝食付
駐車代	1,200		(ご参考)	1泊
費用見積合計			2,724,340 円	

3F

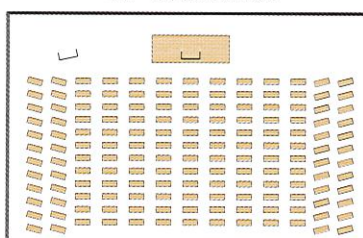


◎駿府 / Sumpu

正餐 / Sitting

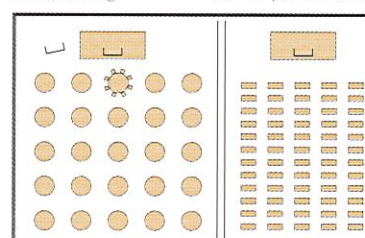


スクール / Schoolroom



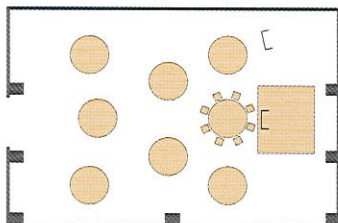
分割使用 / Partitioned
正餐 / Sitting

スクール / Schoolroom

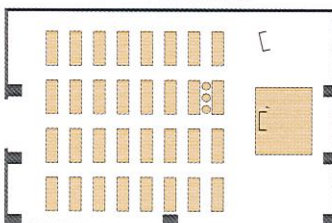


◎橋 / Tachibana

正餐 / Sitting

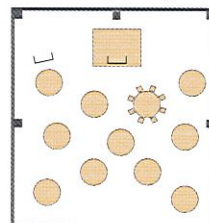


スクール / Schoolroom

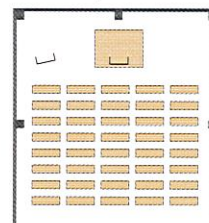


◎葵 / Aoi

正餐 / Sitting



スクール / Schoolroom



宴会場 Banquet Room		面積 (m ²) Area (Sqm)	坪数 (坪)	収容人数 Accommodation			
				正餐 Sitting	スクール Schoolroom	シアター Theater	立食 Standing
駿府 Sumpu	全室 Whole room	680	206	450	450	1,000	900
	I	370	112	250	250	450	350
	II	280	85	150	180	300	200
葵 Aoi		190	57	110	120	180	110
橋 Tachibana		160	48	80	90	140	90

6. 表 彰 規 程（案）

第1条 この規程は、（一社）静岡県設備設計協会（以下「協会」という。）の会員に適用する。

第2条 建築設備設計事業に携わる個人であつて、その推進にあたって顕著な功績がある等、他の模範として推奨に値する者に対して建築設備設計功労者表彰を行う。

第3条 建築設備設計功労者表彰は、次の各号のいずれかに該当し、建築設備設計事業の推進に相当の事績を有し他の模範である者に対して行う。

- （1） 50年表彰 建築設備設計事業に50年以上従事し、業務に精励するとともに、本協会の役員として25年以上在職し本協会の発展に寄与した者
- （2） 40年表彰 建築設備設計事業に40年以上従事し、業務に精励するとともに、本協会の役員として20年以上在職し本協会の発展に寄与した者
- （3） 30年表彰 建築設備設計事業に30年以上従事し、業務に精励するとともに、本協会の役員として15年以上在職し本協会の発展に寄与した者
- （4） 20年表彰 建築設備設計事業に20年以上従事し、業務に精励するとともに、本協会の役員として10年以上在職し本協会の発展に寄与した者

第4条 建築設備設計功労者は、理事会で決定する。

第5条 表彰は、協会会長が、表彰状を授与して行う。

2 表彰は、副賞を添えて行うことができる。

第6条 表彰の時期は、原則として記念式典とする。

附則

この規程は、平成27年 月 日から施行する。

(小数点以下：
月数)

13

正会員会員年数、役員年数調査表（会員年数は平成27年11月 役員年数は平成26年度まで）

番号	会員名	代表者	入会年月	創立年月	会員年数	会長	副会長	専務理事	理事	監事	役員年数
1	MEサポート	佐野富士雄	H18.5		9.6				H24～		3
2	㈱ビー・コンセプト	泊 真吾	H24.5		3.5						
3	イーグル設備設計	枝村 彰	H1.12	S62.4	25.11				H22～23		2
4	(合) ウエダ建築設備事務所	植田賢司	H4 *2	S63.5	23.7		H18～19	H16～17	H14～15 H26～	H24～25	9
5	エル設備企画	中山 巧	H3 *3	S63.4	24.7						
6	環設備設計事務所	山本晋也	S55.4～H8.5 H13.4～	S54.1	30.7						
7	佐々木設備設計事務所	佐々木哲男	S60.6～H3 H6.4～	S58.8	27.2			H20～21	H11～12 H16～19		8
8	志賀建築設備設計事務所	志賀正紀	S43.4	S41.10	47.7	H3～13	S59.9～H2		S50～59.8		27
9	杉山設備設計事務所	杉山 敬	S48.5	S47.2	42.6						
10	設備設計KAI	甲斐裕士	H18.6		9.5						
11	総合建築設備設計事務所Souken	中村健一	H9.6		18.5					H26～	1
12	ツジシステムデザイン	辻 信之	H26.11		1						
13	ナナミ電気設計	名波睦生	H5.10	H4.5	22.1				H16～17 H24～		5
14	美和設備設計室	美和静男	S63.5	S63.1	27.6		H22～				5
15	村上設備設計事務所	村上善洋	H4 *4	S60.4	23.7						
16	山森建築設備設計事務所	山森 繁	H2.4	S63.5	25.7		H22～23	H24～	H18～21		9
17	㈱PLAN-Gエンジニアリング	後藤利基	H21.9		6.2						
18	㈱エスエスシー	齊藤隆幸	H18.8	S64	9.3				H24～		3
19	(有)アドイン設計	三ツ井幹雄		S56.3 *1		H24～		H14～15 H18～19	H11～12		9
20	㈱セイワ設計	手塚正一	S54.4	S53.2	36.7	H14～21	H9～13		S58～H2 H5～8		25
21	㈱パブリック設備研究所	伴 賢二	S40.4	S39.9	50.7	S59.9～H2	S50～59.8		S40～49 H3～13		37
22	(有)オサダ設計	長田武士	H21.10		6.1						
23	(有)コバヤシ設備設計事務所	小林康秀	S61.1	S61.1	29.10	H22～23	H11～12 H20～21	H14～17	H13	H8～10	14
24	(有)セイブ設備計画	神谷保孝	S54.4	S53.4	36.7				H7～10 H24～		7
25	(有)総合設備計画事務所	川端猛真	S54.4	S51.4	36.7						
26	(有)ナガノ設備設計事務所	永野靖子	S54.4	S48.4	36.7				H22～23		2
27	(有)モア設備設計事務所	村松 宏	H4.11	H1.4	23						
28	(有)洋設計システム	鈴木洋之	H1.5	H1.4	26.6				H18～21		4
29	㈱フレームアーツ	大塚 優 (担当者)	H25.4	H21.7	2.7						

- * 1 S 4 9. 7 建築設備計画開設 S 5 6. 3 名称を(株)静岡建築設備計画として法人化
- * 2, 3, 4 広報誌で確認のため入会月は不明、今回は暫定措置で4月として計算した。
- ・代表者の変更
- | | | |
|---------------|-------------------|---|
| (有)ナガノ設備設計事務所 | 永野賀杜雄→永野靖子 (H 4) | 一覧表では事業所としての会員年数を標記してある。
(個人の年数ではない) |
| (有)総合設備計画事務所 | 設楽茂雄→川端猛真 (H 2 0) | |
| (株)エスエスシー | 齊藤成晴→齊藤隆幸 (H 2 3) | |
| 環設備設計事務所 | 山本幸男→山本晋也 (H 2 4) | |

(報告事項 1)

「設備設計関係協会全国会長会議」報告について

開催日時 平成26年11月18日(火) 11:00～14:00

開催場所 木材会館6F 会議室

東京都江東区新木場1-18-8

- 議 案
- 1 建築士法一部改正の経緯説明
 - 2 業務報酬基準の件
 - 3 連合会設立の件(経過報告及び概要説明)
 - 4 今後の対応等に関する件
 - 5 その他

平成26年度 東海4県設備設計協会情報交換会

日時：平成26年11月14日（金）15:00～17:00

場所：（一社）愛知県設備設計監理協会事務局

議 事 次 第

出席者 岐阜県設備設計事務所協会 松尾会長 高間副会長
三重県設備設計事務所協会 伊藤会長
（一社）静岡県設備設計協会 三井会長
（一社）愛知県設備設計監理協会 村上会長 植田理事
近藤理事 黒田委員長

議 題

1. 日本設備設計事務所協会連合会への移行について
各県の状況のご説明

2. 中部地方整備局 営繕部との意見交換会について（H27-2.2.7）

以上

今5A 国交省が来訪（愛知県設備設計協会）

平成27年度

28年度に
~~~~~

## 設備設計関係協会全国会長会議

日時 平成26年11月18日(火) 11時00分～14時00分

場所 木材会館6F会議室(東京都江東区新木場1-18-8)

出席 別紙参照

資料 別紙一式

### 議題

1. 建築士法一部改正の経緯説明
2. 業務報酬基準の件
3. 連合会設立の件(経過報告及び概要説明)
4. 今後の対応等に関する件
5. その他

設備設計関係協会全国会長会議 出席表 /○出席、×欠席、◎代理

2014.11.18 (一社)日本設備設計事務所協会

|      | 出欠 | 協会名               | 氏名    | 役職名 ※( )は本会役職名  |
|------|----|-------------------|-------|-----------------|
| 北海道  | ○  | (一社)北海道設備設計事務所協会  | 種市由夫  | 会長 (本会理事)       |
| 青森県  | ×  | 青森県設備設計事務所協会      | 吉川武男  | 会長              |
| 岩手県  | ◎  | (一社)岩手県設備設計事務所協会  | 村山 茂  | 副会長 会務部長        |
| 秋田県  | ◎  | (一社)秋田県設備設計事務所協会  | 長谷川正一 | 会長              |
| 宮城県  | ◎  | (一社)宮城県設備設計事務所協会  | 遠藤 学  | 会長              |
| "    | ○  | "                 | 関 幸夫  | 理事 (本会理事)       |
| 山形県  | ◎  | (一社)山形県設備設計事務所協会  | 渡邊昌也  | 会長              |
| 福島県  | ◎  | (一社)福島県設備設計事務所協会  | 八島次雄  | 会長              |
| 茨城県  | ◎  | (一社)茨城県設備設計事務所協会  | 菊地 繁  | 会長 (本会理事)       |
| 栃木県  | ◎  | (一社)栃木県設備設計事務所協会  | 加藤仁志  | 会長              |
| 群馬県  | ◎  | (一社)群馬県設備設計事務所協会  | 坂田伸也  | 会長              |
| 埼玉県  | ◎  | (一社)埼玉県設備設計事務所協会  | 服部幸二  | 顧問 (本会副会長兼専務理事) |
| 神奈川県 | ◎  | 神奈川県設備設計事務所協会     | 小後摩 基 | 会長              |
| 千葉県  | ◎  | (一社)千葉県設備設計事務所協会  | 森田京二  | 会長              |
| 東京都  | ◎  | (一社)東京都設備設計事務所協会  | 小林貞夫  | 会長 (本会理事)       |
| 山梨県  | ◎  | (一社)山梨県設備設計事務所協会  | 田口和人  | 会長 (本会理事)       |
| 長野県  | ◎  | (一社)長野県設備設計協会     | 岡宮清吉  | 会長              |
| 新潟県  | ◎  | (一社)新潟県設備設計事務所協会  | 渋谷周策  | 会長              |
| "    | ○  | "                 | 山口和明  | 名誉会長 (本会副会長)    |
| "    | ○  | "                 | 松田隆夫  | 事務局長            |
| 富山県  | ◎  | 富山県設備設計事務所協会      | 吉田光喜  | 会長              |
| 石川県  | ◎  | (一社)石川県設備設計監理協会   | 村島外三雄 | 会長              |
| 福井県  | ◎  | (一社)福井県設備設計事務所協会  | 松山憲雄  | 会長 (本会監事)       |
| 岐阜県  | ◎  | 岐阜県設備設計事務所協会      | 松尾 仁  | 会長 (本会理事)       |
| 静岡県  | ◎  | (一社)静岡県設備設計協会     | 三ツ井幹雄 | 会長              |
| 愛知県  | ×  | (一社)愛知県設備設計監理協会   | 村上正継  | 会長              |
| 三重県  | ×  | 三重県設備設計事務所協会      | 伊藤憲司  | 会長              |
| 滋賀県  | ◎  | (一社)滋賀県設備設計事務所協会  | 加藤忠則  | 会長              |
| 京都府  | ◎  | (一社)京都設備事務所協会     | 水島順二  | 会長              |
| 大阪府  | ◎  | (一社)大阪府設備設計事務所協会  | 木村 肇  | 会長              |
| 兵庫県  | ◎  | 兵庫県設備設計事務所協会      | 安堂 渉  | 会長              |
| 奈良県  | ◎  | 奈良県設備設計事務所協会      | 植村武司  | 会長              |
| 和歌山県 | ◎  | 和歌山設備設計事務所協会      | 市川正夫  | 会長              |
| 鳥取県  | ◎  | (一社)鳥取県設備設計事務所協会  | 守山康仁  | 会長 (本会理事)       |
| 島根県  | ◎  | (一社)島根県設備設計事務所協会  | 神門喜八郎 | 会長              |
| 岡山県  | ×  | (社)岡山県設備設計事務所協会   | 福家通男  | 会長              |
| 広島県  | ◎  | (一社)広島県設備設計事務所協会  | 歌田光典  | 会長              |
| "    | ○  | "                 | 佐藤大三  | 相談役 (本会副会長)     |
| 山口県  | ◎  | 山口県設備設計協会         | 前田真史  | 会長代行            |
| 徳島県  | ◎  | (一社)徳島県設備設計事務所協会  | 新田 聡  | 会長              |
| 香川県  | ◎  | (一社)香川県設備設計事務所協会  | 高木俊幸  | 会長 (本会副会長)      |
| "    | ○  | "                 | 新居修三  | 副会長             |
| 愛媛県  | ×  | 愛媛県設備設計事務所協会      | 大和正年  | 会長              |
| 高知県  | ×  | (一社)高知県設備設計事務所協会  | 下飯野芳幸 | 会長              |
| 福岡県  | ◎  | (一社)福岡県設備設計事務所協会  | 藤井 修  | 会長              |
| 佐賀県  | ◎  | (一社)佐賀県設備設計事務所協会  | 承山孝吉  | 会長              |
| 長崎県  | ◎  | (一社)長崎県設備設計事務所協会  | 濱谷雄二  | 会長 (本会理事)       |
| 熊本県  | ◎  | (一社)熊本県設備設計事務所協会  | 田中純司  | 会長              |
| 大分県  | ◎  | (一社)大分県設備設計事務所協会  | 矢野 久  | 会長              |
| 宮崎県  | ◎  | (一社)宮崎県設備設計事務所協会  | 岩満国弘  | 会長              |
| 鹿児島県 | ◎  | (一社)鹿児島県設備設計事務所協会 | 西田能行  | 会長 (本会会長)       |
| 沖縄県  | ◎  | (一社)沖縄県設備設計事務所協会  | 宮良洋三  | 会長 (本会理事)       |

新加坡設備設計事務所

設備設計事務所

設備設計事務所

(一社)設備設計事務所

## (仮称) 一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会

### 設立趣意書

＝組織改革と自律的監督体制の確立に向けて＝

#### 1. 背景

##### 1-1. 社会における設備技術者

世界規模で地球環境配慮が叫ばれる時代、省エネルギーや再生可能エネルギーの促進は勿論のこと、省資源や環境共生、自然災害などの防災対策や被災時のバックアップ技術、情報通信網によるスマートシティ・プロジェクトなどなど、現代社会の多様な要請に対応し、また持続可能な建築資本の構築に向けての設備技術者に課せられた業務上の社会的責務はますます増大していくことになると思われます。

このたびの法改正で建築設備士が建築士法に定義されたことは、社会が設備技術者にこれからの更なる活躍を期待していることの現れであると確信しています。

##### 1-2. 職能団体として求められる体制

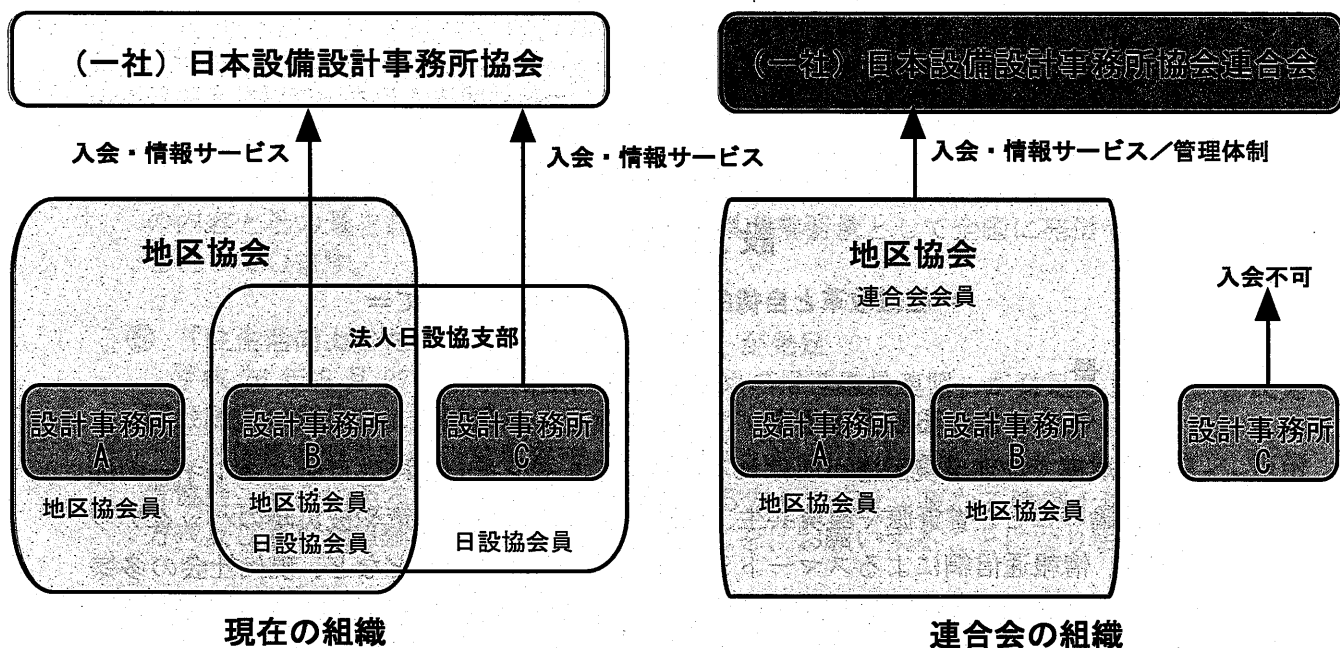
「建築関係法体系の勉強会」（以下：勉強会）の纏めには、多発する建築紛争回避等のために「職能団体の自律的監督体制の構築」を求める意見があったと記載されています。

設備設計等の職能団体も同様に、自律的監督体制を構築できる組織にしなければなりません。

##### 1-3. 一般社団法人日本設備設計事務所協会

「一般社団法人日本設備設計事務所協会」（以下：本会）は、「社団法人日本設備設計家協会」（以下：家協会）と「日本設備設計事務所協会連合会」（以下：設事連）とが更なる大きな組織団体を望み、家協会の定款と名称を変更して、社団法人として平成 7 年に本会が発足し平成 24 年に一般社団法人に移行しました。そうして組織された本会の定款上の正会員は、設備設計専門事務所であり都道府県設備設計協会（以下：地区協会）ではありませんが、法人法改正前の法人化が困難な頃に、地区協会が法人である本会の支部を名乗ることを望み各地区に支部ができました。しかし、地区協会所属の会員と本会の支部会員が一致しない地区では、後記の組織イメージのように、地区協会と本会支部の 2 つの団体が存在し、地区協会を分裂させかねない状況になっていました。

全国各地の設備設計事務所がまとまって活動するには、地区に一つの協会と地区協会の総意により運営される全国組織にすることが望ましいと思われます。



## 2. 「(仮称) 一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会」(以下：連合会)に向けて

### 2-1. 地区協会の上部団体としての連合会

建築設備士が法律に定義されますが、しかし設備設計事務所にとってはそれだけでは十分とは云えず、事務所経営に係る業務報酬額の改善や事務所登録、次世代技術者及び経営者の育成など設備設計事務所の業務環境に係る課題は残されたままです。

発注機関との調整や技術の研鑽の機会、倫理の遵守に係る指導的活動など、地区協会としての役割は不可欠ですが、地区協会の活動をさらに活性化させ、課題を克服するための連合会を、地区協会の課題を超えた問題に取り組む上部団体として位置付けます。

### 2-2. 自律的監督体制の構築のための連合会

自律的監督体制とは、紛争等の未然防止に努め、情報を共有し、会員の経営や技術等を倫理規範に基づき管理監督を行う体制のことです。

上記の組織イメージのとおり、地区の事務所が自由意志で入会できる組織、あるいは地区協会に所属していない事務所や地区協会が会員資格を認めない事務所でも入会できる現在の組織では、自律的監督体制を築くことは困難です。

監督体制を構築するには、明確な管理体制が必要です。

地区協会の権限をもって、連合会への入会決定ができることは、地区協会の立場が強くなり、管理体制が明確になって、活性化に繋がります。

連合会が「何を」「どのように」管理するかは、国の指導を仰ぎながら今後の協議課題と考えています。

### **3. 連合会の設立と運営**

#### **3-1. 連合会設立の絶好の機会**

社会的規制（法制化）をするには「情報の非対称」及び「社会不経済」、「行為の規模」の原則を満たす必要があるとされています。

建築設備士は、法制化に値する資格者として社会に認められたということです。

今が、建築設備士が業を行う設備設計事務所の存在を確固たるものにし、存続する体制づくりの千載一遇のチャンスであり、連合会の設立は建築設備士が法に定義されたこのときにおいて、他にあるとは思えません。

#### **3-2. 地区協会が創り、運営する**

本会の会員から「何をしてくれるのか」や「メリットは何か」など利を求める声をよく耳にします。地区協会の運営においても同じと思いますが、メリットは会員全員が参画し、自ら作り出し享受するものと心得ます。

連合会では創設の時から正会員となる地区協会にしっかり関わって頂き、設立から運営に至るすべての責任は、組織の構成員（地区協会）自ら負うものとします。

#### **3-3. 建築士法改正時の教訓**

今回の法改正では、立法府及び行政府、利害関係団体における調整作業において、組織が備えるべき教訓がありました。

法改正を伴う活動組織には、指導行政とのパイプ役が必要ですし、また業務環境改善等の政策を推進してくれる議員連盟の存在も欠かせません。

しかし、このことには財政負担が伴いますので、連合会の健全財政を維持できる範囲を模索する必要があるでしょう。

連合会の組織づくりの議論の場で、議員連盟が果たした役割の教訓を参考にしたいものです。

#### **3-4. 利害関係者団体の理解**

法改正において、利害関係者団体の反対は大きな足かせとなりますので、連合会の設立準備段階から利害関係者団体との情報交換を行い、理解を得ることは大変重要なことだと思えます。

### **4. 連合会の目的**

設備設計事務所の業務環境の改善と健全な発展及び社会的地位の向上と、建築主や建築士事務所などクライアントの利益の保護を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的とします。

## **(仮称) 一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会**

### **設立趣意書補足**

#### **§ 1. はじめに**

連合会の設立趣意書では、連合会を地区協会の総意による「適正な業務報酬基準（改修設計）」及び「専門資格での事務所登録制度や発注方式」の改善、「情報交換」、また建築関連の団体との「専門資格での事務所登録制度の理解要請」「情報交換」などの、国レベルの渉外を行うとともに、地区協会との情報の集約と発信の機関に位置付けています。

また、地区協会は、各都道府県における渉外を自主的に行い、常に連合会との連携を図る単位正会員と位置付けています。

#### **§ 2. 一般社団法人日本設備設計事務所協会（以下：日設協）のこれまでの活動**

日設協は、今日までいろいろな活動を行ってきました。主だった活動成果を下記に示します。

##### **① 建築士法の一部を改正における建築設備士の法定義等**

第 186 回通常国会で建築士法の一部を改正する法律案が、可決成立しました。施行は、1 年以内となっており、27 年の 6 月ごろと予想されています。

改正法では下記のように建築設備士を建築士法に定義し、一定規模超の建築設備については建築設備士の意見を聞くように努めなければならないとされています。

##### **第二条（定義）**

5 この法律で「建築設備士」とは、建築設備に関する知識及び技能につき国土交通大臣が定める資格を有する者をいう。

##### **第十八条（設計及び工事監理）**

4 建築士は、延べ面積が二千平方メートルを超える建築物の建築設備に係る設計又は工事監理を行う場合においては、建築設備士の意見を聞くように努めなければならない。ただし、設備設計一級建築士が設計を行う場合には、設計に関しては、この限りではない。

##### **② 一級建築士資格試験の受験資格**

一級建築士の受験において、建築設備士からのルートが認められました。

建築設備士は、二級建築士と同じ実務の経験年数 4 年以上で一級建築士を受験することが出来るようになりました。

##### **③ 建築設備検査資格者の資格取得講習の受講**

建築設備検査資格者講習において、建築設備士の資格を有するものが優遇され、講習科目の一部の免除を希望する場合は、講習科目のうち、1. ～8. の科目を免除して、4 日目の 3 科目（9. 10. 11.）のみの受講でよいことになりました。



#### ④ 設備改修工事の設計等の業務報酬基準の策定に向けて

現在進行中ではありますが、公益財団法人建築技術教育普及センターの助成金事業の「設備改修工事に係る設備設計等の業務内容及び業務量調査」に取り組み、最終的には設備改修工事設計等の業務報酬基準策定に係る国の実態調査の時に、業界から数多くの業務量サンプルデータを提供し、国土交通大臣が定める改修設計の業務報酬基準に反映して頂くための業務量入力ソフトの開発を行っています。

また、告示第15号における実務で行っている実費加算となるべき設備設計等の追加業務の内容とその量を詳細に調べ、追加業務の標準業務量として全国に発信するための準備を行っています。

#### ⑤ 「住生活向上のための政策推進議員連盟」が発足

平成26年5月27日に「住生活向上のための推進議員連盟」が発足しました。自民党国会議員の先生方に設備設計の重要性を認めて頂き創って頂いたものです。

この議員連盟を設備設計事務所だけにとどまらず、設備機器メーカーやサブコン、技術者協会、学会に至る住生活環境向上に関わる方々で支え、更なる建築士法の改正や発注方式及び適正な報酬に係る請願などの後押しを、お願いすることになります。

#### ⑥ 設備設計事務所登録制度について

健全な設備設計事務所の繁栄と発展を実現するために、日設協の設備設計事務所登録制度を創設しました。

急速に高度化している設備設計技術を有する設備設計事務所の存在を「見え易くする」ことは、必ずやクライアントの利益の保護につながるものと思います。

公共に貢献できる専門家を世に送り出すという「専門領域の組織としての責任」を果たす為、日設協では十分なる技術・能力を持つ専門事務所を認定・登録し、公表しています。

#### ⑦ 建築設備賠償責任の団体保険について

2007年より日設協では、会員の企業防衛に役立てて頂くために、建築設備賠償責任の団体保険に加入し、会員だけが加入できるサービスを行っています。

今回の建築士法の一部を改正する法律で「建築士事務所の開設者は、設計等の業務に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保するための保険契約の締結その他の措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。

本会が加入している団体保険は改正法の内容を十分に満足するものとなっています。

### §3. 趣意書の「社会的規制の原則」について

社会的規制（法制度）をする原則の三つについて、「情報の非対称」があること及び「社会不経済」が生じている或いは生じる可能性があること、「行為の規模」が無視できないものであることと云われています。

「情報の非対称」とは、建築設備士の場合、建築設備の設計及び工事監理における知識及び技能において、建築主及び建築士との間に相当の差があり、非対称が生じているということ。

「社会不経済」とは、建築物の設備工事が占める工事費割合が40%、50%を超える規模のものもあり、建築設備の行為（設計等）により社会不経済が生じる或いは生じる可能性があるということ。

「行為の規模」とは、建築設備士が行っている業務の規模が無視できないものであるということ。

(案)

H26年11月18日

(一社) 日本設備設計事務所協会 様

(一財) 建築コスト管理システム研究所

参事 榊原健児

### 設備設計のコスト管理の実態に関して (依頼)

貴協会におかれましては、当研究所の事業執行に多大なる御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当研究所におきましては公共建築物のコスト管理のあり方に関して、経済社会の動向や技術の進展に対応した調査研究、開発等を行い、公共建築物のコスト管理システムの近代化を推進することにより、社会基盤として質の高い建築物の整備及び建築技術の向上に資することを目的として事業を執行しております。

この目的を達成するための事業の一端として、建築のコスト管理技術に関する調査研究及び開発に携わっているところ、平成28年度末を目途に電気及び機械設備工事の概算手法として、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「官庁施設の設計段階におけるコスト管理ガイドライン」に基づく概算手法の検討を行っております。

業務多忙な折に恐縮でございますが、別紙の質問事項に関して御教授を賜りたく存じますので、会員の皆様に御連絡頂くようお願い申し上げます。

連絡先 (一財) 建築コスト管理システム研究所

東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル 5 階

TEL 03-3434-1530 FAX 03-3434-3714

担当者 参事 榊原健児

(一社) 日本設備設計事務所協会 様に対する質問事項 (案)

① 「官庁施設の設計段階におけるコスト管理ガイドライン」に関して

- 1) 国土交通省が平成 26 年 3 月 19 日に制定した「官庁施設の設計段階におけるコスト管理ガイドライン」をどの様に御活用されていますか？
- 2) 上記①のガイドラインに沿って基本設計着手段階、基本設計審査段階に発注者に対して概算工事費を報告する場合の問題点等を御教授願います。

② 設備設計業界の実態に関して

- 1) 設備設計発注者からのコスト管理（概算算出）に関する指示の実態（時点、精度）を御教授願います。
- 2) 工事費に大きく影響する仕様、機器性能等に関して発注者からの指示の有無は如何ですか？また、指示がある場合はどの時点ですか？
- 3) 概算を算出するための独自の手法を保有していますか？  
保有している場合、情報提供に御協力いただけますか？

③ その他

- 1) コスト管理(概算算出)に関して、設備設計業界が抱える懸案事項等があれば御教授願います。

上記に関して、御教授を頂ける範囲で御回答いただくようお願い申し上げます。

## 官庁施設の設計段階におけるコスト管理ガイドラインの改定について

### 1. ガイドラインの改定

#### ◎ 平成26年3月

##### ・官庁施設の設計段階におけるコスト管理ガイドライン（平成26年3月19日版）

（別添1）概算工事費算出標準書式を用いた概算算出の基本的考え方及びその運用

（別添2）概算工事費算出標準書式

→設計業務において受注者が行う概算工事費算出の手法、発注者が行う審査の手法、概算算出の際の標準的な書式などを示したもの

##### ・概算工事費算出にあたっての留意事項（平成26年3月版）

→ガイドラインの別添2「概算工事費算出標準書式」を用いて概算工事費を算出する際の具体的な運用を示したもの

#### ◎ 官庁営繕事業においては、平成26年4月以降の新築及び増築の設計業務に適用

※改定したガイドラインのデータは、国土交通省のホームページ([http://www.mlit.go.jp/gobuild/cost\\_gl.html](http://www.mlit.go.jp/gobuild/cost_gl.html))に掲載しています。

## 2. ガイドライン改定の背景

### 旧ガイドラインの概要

- ◎ 平成23年度 設計段階におけるコスト管理を効果的かつ適切に行うため以下を制定

・官庁施設の設計段階におけるコスト管理ガイドライン（平成23年6月20日版）

（別添）概算工事費算出標準書式

・概算工事費算出にあたっての留意事項（平成23年7月版）

- ◎ 官庁営繕事業においては、平成23年7月以降の新築及び増築の設計業務に適用



### 運用状況の把握

- ◎ 平成24、25年度、地方整備局担当者及び受注者に対し、ガイドラインの使い勝手、効果等についてヒアリングを実施。

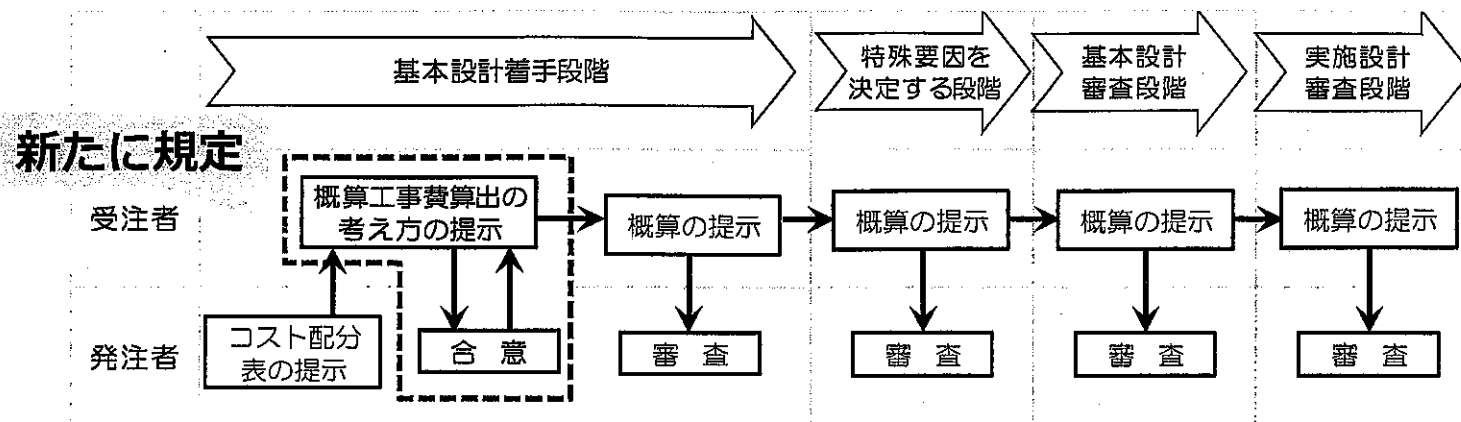
その結果、特に建築工事の概算算出について、以下の状況が見受けられた。

- ① 受注者独自の方法により算出後、ガイドラインの標準書式に合わせるといった、二度手間になっている場合がある。  
→ 受注者独自の算出手法を認める手順の明確化が必要
- ② どの程度の精度で算出すればよいのか分かりづらく、精緻になりすぎて受注者が負担を感じている場合がある。  
→ 柔軟な運用が可能であることを分かりやすくすることが必要

### 3 改定の概要

## ① 概算工事費算出の考え方について受発注間で合意形成を図る段階を新たに規定

- 概算に着手する前に、「概算工事費算出標準書式」の適用に関する考え方、使用する単価に関する考え方、数量算出に関する考え方について受発注間で合意形成を図る段階を新たに規定



## ② 柔軟な運用が可能な内容を明確化

- ガイドライン別添1に「単価に関する考え方及びその運用」、「数量算出に関する考え方及びその運用」について明記し、柔軟な運用が可能な内容を明確化

(例) ・多数の規格・仕様がある場合は、代表的な規格・仕様に整理して算出してもよい。  
 ・コンクリート体積を算出する場合、柱と梁の取り合い部分の二重計上を無視するなど全体工事費に対する影響が少ない部分は精緻に算出しなくてよい。

- 『概算工事費算出にあたっての留意事項』に概算を算出する場合に数量算出を基本とする項目を明確化

数量算出を基本とする項目を明確化。(★印)  
 それ以外は㎡当たりの実績単価を活用するなど、  
 受注者の工夫による算出を可能としている。

(留意事項の一部抜粋)

| 【コンクリート】     |   |                                                                             |
|--------------|---|-----------------------------------------------------------------------------|
| (1) 普通コンクリート | ★ | 躯体の断面寸法から体積 (m <sup>3</sup> ) を算出する。                                        |
| (2) 打設手間     | ★ | 躯体の断面寸法から体積 (m <sup>3</sup> ) を算出する。                                        |
| (3) ポンプ圧送    |   | ・延べ面積×1.0 m <sup>3</sup> /㎡÷200 m <sup>3</sup><br>・階数+3<br>のうち大きい値 (回) とする。 |
| (4) 止水板      |   | 延べ長さを算出する。(m)                                                               |

捨てコンクリートは地盤工事、初水押えコンクリートは基礎工事、内部の細筋コンクリートは仕上工事においてそれぞれ算出する。コンクリート足場は原則として考慮しない。  
 コンクリートは普通コンクリート、スランプが18 cm、セメントの種別が普通ポルトランドセメント、粗骨材の粒径が25mmの製品を代用品とする。温度補正を含めたものとし、打継ぎ処理は原則として考慮しない。

会員の入会について

1. 正会員 ツジシステムデザイン

代 表 辻 信之

|             |             |
|-------------|-------------|
| 入会申込書の提出日   | 平成26年10月 7日 |
| 理事会での審議、承認日 | 平成26年10月21日 |
| 入会審査通知書の通知日 | 平成26年10月21日 |
| 入会金及び年会費入金日 | 平成26年11月13日 |

2. 賛助会員 株式会社オーディックス

企画営業部長 杉本 裕示

|             |             |
|-------------|-------------|
| 入会申込書の提出日   | 平成26年 7月14日 |
| 理事会での審議、承認日 | 平成26年 7月25日 |
| 入会審査通知書の通知日 | 平成26年 7月28日 |
| 入会金及び年会費入金日 | 平成26年 8月 8日 |

3. 賛助会員 ニッタン株式会社 中部支社

中部支社長 齋藤 勉

|             |             |
|-------------|-------------|
| 入会申込書の提出日   | 平成26年 8月14日 |
| 理事会での審議、承認日 | 平成26年 8月29日 |
| 入会審査通知書の通知日 | 平成26年 8月29日 |
| 入会金及び年会費入金日 | 平成26年 9月22日 |

委員会報告について

1 報告期間

平成26年7月25日から平成26年12月11日

2 報告内容

(1) 総務委員会

○他団体等との情報交換事業

- ・県設備課との意見交換会を平成26年9月5日(金)に  
静岡市産学交流センターにて行った。

- ・建築五団体賀詞交歓会

(公社)静岡県建築士会の不参加発表を受けて、今後について五団体で検討を重ね、結果としてこれまでの賀詞交歓会の運営方法を見直して会を継続することとなった。

開催時期 平成27年1月23日(金)

会 場 ホテルアソシア静岡

名称を「建築関係団体新年会」に変更する。

- ・会員交流会(忘年会)(本日開催)

平成26年12月12日(金)～12月13日(土)

会場 ホテルアンビオ松風閣

(2) 技術委員会

○建築設備設計技術向上事業

- ・技術講習会を平成26年10月24日(金)に  
静岡市産学交流センターにて開催した。

○設計施工技術共同研修事業(共同事業推進委員会：視察研修会)

平成26年9月26日(金)第2回共同事業推進委員会を開催した。

時 期 平成27年2月27日(金)～28日(土)

研修先 (株)エヌ・ワイ・ケイ埼玉工場(埼玉県蓮田市根金)他



### (3) 広報委員会

① 第4回広報委員会を平成26年9月12日（金）に行った。

- ・ 広報誌送付後の修正事項の確認を行った。
- ・ 広報誌「風とあかり」37号については50周年記念号とする。

来年度は式典もあり、予算的に厳しいことが予想されるので広告を多く集める必要が生じる可能性が高い。

賛助会員に事前に広告予算確保をしてもらうために、各社予算要求時期に50周年ということをPRする挨拶状(会長名、広報委員長名)を出したらどうか。  
ただし来年度予算が成立する前に出すことについて差し支えないかの確認をする。

静岡県設備課との意見交換会  
次 第

日 時：平成26年9月5日（金）  
15時～

会 場：静岡市産学交流センター演習室1  
（ペガサート7階）

1 開 会

2 挨 拶

（1）静岡県経営管理部財務局設備課 課長 稲葉 洋幸 様

（2）（一社）静岡県設備設計協会 会長 三ツ井 幹雄

3 自己紹介

4 議 事

（1）協会提案議題

（2）その他

5 閉 会

静岡県設備課との意見交換会  
出席者名簿

静岡県経営管理部財務局設備課

| 職 名     | 氏 名   | 備 考 |
|---------|-------|-----|
| 課長      | 稲葉 洋幸 |     |
| 技監      | 黒柳 正巳 |     |
| 課長代理    | 石田 高久 |     |
| 設備技術班班長 | 石川 達也 |     |
| 電気班班長   | 内山 武志 |     |
| 機械班班長   | 石川 雅士 |     |

(一社) 静岡県設備設計協会

| 職 名       | 氏 名    | 備 考            |
|-----------|--------|----------------|
| 理事 (会長)   | 三ツ井 幹雄 | (有)アドイン設計      |
| 理事 (副会長)  | 美和 静男  | 美和設備設計室        |
| 理事 (専務理事) | 山森 繁   | 山森建築設備設計事務所    |
| 理事        | 佐野 富士雄 | ME サポート        |
| 理事        | 植田 賢司  | (合) ウエダ建築設備事務所 |
| 理事        | 名波 睦生  | ナナミ電気設計        |
| 理事        | 神谷 保孝  | (有)セイブ設備計画     |
| 理事        | 齊藤 隆幸  | (株)エスエスシー      |
| 相談役       | 小林 康秀  | (有)コバヤシ設備設計事務所 |
| 正会員       | 志賀 正紀  | 志賀建築設備設計事務所    |

静岡県設備課との意見交換会  
議題一覧

1 協会提案

(1) 県単価の追加項目要望

(2) 設備監理の発注

(3) 設備地震対策ガイドライン（H25）の改訂ポイントの説明

(4) 協会への業務依頼の発注

(5) 設計完了検査が結果的に数か所で受ける事について

(6) 建築設備士資格者の活用

(7) 設計書基準について

(8) 撤去・処分費の算出シートについて

(9) 見積の徴集について

(10) 改修・撤去工事の図面について

(11) 完成現場の見学について

## 2 その他

## 静岡県設備課との意見交換会の記録

一般社団法人 静岡県設備設計協会

総務委員長 名波 睦生

●日時：平成 26 年 9 月 5 日（金曜日） 午後 15 時～17 時

●場所：静岡市産学交流センター7 階演習室 1

●参加者

県側（経営管理部財務局設備課）：課長 稲葉洋幸 技監 黒柳正巳 課長代理 石田高久

技術班班長 石川達也 電気班班長 内山武志

機械班班長 石川雅士

協会側：会長 三ツ井幹雄 副会長 美和静男 専務理事 山森繁

理事 名波睦生 佐野富士雄 植田賢司 神谷保孝 齊藤隆幸

相談役 小林康秀 正会員 志賀正紀

○意見交換会内容記録 ※(県)県設備課側より、(協)協会側からの発言

協会提案

1.県単価の追加項目要望

(協) 手すり類の取り付け費やビルマルの大型機種を設置費等の追加をしていただきたい。

(県) 常に使うものであればリストアップして、設備課から技術管理課へ働きかけは出来る。

\* 協会ですべてを一覧表にして県へ提出し、県設備課より技術管理課に検討願いを投げかけて頂く。

2.設備監理の発注

(協)現場近くの者であれば、きめ細かい監理が可能で、品質の良い物ができる。

設備と監理を一緒に出してもらえれば、責任を持って最後まで仕事を見届けることができる。

(県)建築に出ているものを設備に出すのは難しい、また発注を出しても人材不足もあり、応募が無いこともある。

3.設備地震対策ガイドライン（H 2 5）の改訂ポイントの説明

(協)ガイドラインの大きな改訂ポイントについて教えてください。

(県)ガイドラインの改訂概要としては、

追加項目 ・津波対策

・策定後の新たな技術の反映

①太陽光発電設備による停電時対策

②マンホールトイレによる排水設備対策

見直項目 ・機能自立期間等の設備機能維持目標の整理及び設備耐震固定等の強度を「建

「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」と整合

- ・震度階による区分
- ・設備対応表（用途別設備対応策）
- ・東日本大震災の被害状況を踏まえた設備耐震対策
- ・S I 単位系への変更

2014年4月から県のHPで公表している。

4.協会への業務依頼の発注

(協)前年度の「耐震・津波診断」のような協会へ発注する業務依頼の計画はありますか。

(県)対津波の防災拠点施設の診断は終了したところから、今年の予定はありません。

その他のものについては未定。

5.設計完了検査が結果的に数か所で受ける事について

(協)担当部署で完了検査を受けた後、後日に土木事務所や設備課でチェックを受ける事がある。受ける事は良いのですが、その対応が必要となり、考え方が違う場合がある。

設計から参加して頂ければありがたい。

(県)3土木事務所（沼津・静岡・浜松）は設備があるがそれ以外にはない。

営繕課では、設計と工事は一緒にやっている。公営住宅課は、設計は公営住宅課が一本で行っており、図面については土木事務所にも出すようになっている。

6.建築設備士資格者の活用

(協)設備業界全体の地位向上及び技術力向上のために、資格者の活用を高め又設備設計者の資格取得意識を高めたい。

(県)平成26年6月に建築士法の一部が改正され、「建築設備士」が法律で定められ、延べ面積2,000㎡を超える建築物について建築設備士の意見を聴くことが建築士の努力義務となったことを受けて今後考えていくことになると思う。

7.設計書基準について

(協)R I B C 2 への移行は今後どのようにしていくのでしょうか。講習会等はあるのでしょうか。

(県)静岡県では平成27年度以降に発注する建築設計業務委託よりR I B C 2 への移行を予定している。講習会について予定はしていないが、(一財)建築コスト管理システム研究所のHPでR I B C W e b トレーニングとして機能説明と操作説明があるので参考にして頂きたい。

8.撤去・処分費の算出シートについて

(協)以前作成して頂いた撤去・処分費積算シートの運用をより広めて頂くよう働きかけをお願いしたい。

(協)県のシートを市町で使用してもよろしいでしょうか。

(県)政令市では情報提供という形で県の撤去・処分費積算シートの情報は提供している。

これはあくまで県の単価であり、県の工事のものについてはOKだが、市町に該当する

ものではないので、市町の判断による。

#### 9.見積の徴集について

(協)LED照明の場合5社満足するものは限りがあるので3社程度でお願いしたい。

また、工事規模によりカタログ程度、3社、5社に変更願いたい。

(県)LED照明等、特殊事情や地域性のあるものについては、5社見積徴集が難しい理由を付して見積を徴集してもらい協議して頂くまた、工事規模を勘案して担当と協議することで進める。

#### 10.改修・撤去工事の図面について

(協)既設図面が無い場合が多いため、盤・照明程度のプロット図面だけでもお願いしたい。

(県)業務の内容としては既設の状態を図面に落としてもらい、それに基づいた改修・撤去をお願いしたい。

#### 11.完成現場の見学について

(協)大小問わず完成後（完成検査時など）に現場見学出来れば収まり等、今後の設計に役立つと思う。

(協)後学のためにも特に特殊なものについては協会として見学会をやるのも良いと思う。

(県)県の担当者が若いため、図面と現場が違っていると設計元の事務所に相談があると思うがよろしくお願いしたい。

#### 12.その他

(協)設計物件完成後の収まり等、指示事項があれば書面等で頂ければ、今後のより良い設計に役立つと思う。

(県)。提出するように検討する。



県設備課との意見交換会（H26.9.5（金））経費計算書

支 出

| 年月日      | 支出先              | 内容            | 金額     |
|----------|------------------|---------------|--------|
| H26.6.25 | 静岡市産学交流センター      | 会場使用料         | 3,700  |
| H26.9.5  | 三ツ井幹雄他9名         | 出席交通費         | 35,000 |
| H26.9.5  | デイリーヤマザキ静岡伝馬町通り店 | 意見交換会用<br>お茶代 | 1,836  |
| 合 計      |                  |               | 40,536 |

## 建築関係団体賀詞交歓会打合せ記録

日 時 平成26年9月12日(金) 13:30～14:40

会 場 建築士事務所協会会議室

出席者 建築士会 岡山副会長  
J I A 静岡 望月美幸(会員)  
建築学会 渋谷支所長  
建築士事務所協会 鈴木専務理事  
設備設計協会 市川倫代

### 打合せ内容

①これまでに開催した代表者打合せ会の内容について士事協より説明があり、  
今度から会の形態を変えての開催になるので、例年より早く打合せ会を開いたことを述べた。

### ②見直し検討項目

- 1.会ごとの目標人数を廃止
- 2.名簿を五十音順にし、すべての所属会に○を付す方式に戻す
- 3.経費のかからない会場を使用する
- 4.飲食の内容を見直す
- 5.受付を会ごとでなく集約する
- 6.幹事は持ち回りでなく分担制として負担を分散する
  - ・一度に全ての見直しは難しいため今回は3の会場については、例年通りアソシアで行う。ただし、会場の広さを2/3に縮小する。  
(1を廃止することで参加者の減少があるとの判断による)
  - ・アソシアを1/20(火)と1/23(金)を仮押さえしてあるので、開催日について各会で検討して頂きたい。
  - ・1で目標人数を廃止したが、大体で良いので各会でどの位の参加者を見込めるかをお教え頂きたい。
  - ・見直しの項目を含めて今後検討していく。

## 建築五団体賀詞交歓会打合せ会議録

日 時 平成26年10月16日(木) 10:00～

会 場 建築士事務所協会会議室

出席者 建築学会 渋谷信明

建築士会 岡山晋也

JIA静岡 望月美幸

設備設計協会 名波睦生

建築士事務所協会 鈴木敦夫

### 1 これまでの経緯について

#### ① 開催日程について

平成27年1月23日(金) 18時～19時30分

アソシア 3階 駿府の間 5分の3

#### ② 参加見込み人数について

230人と見込まれた。

### 2 27年賀詞交歓会の枠組みについて

230人を基にした見積 資料2

例年のスケジュールでは11月上旬に来賓招待状の発送。 資料3

### 3 改善点について

#### ① 会の名称

建築関係団体新年会 とする。

#### ② 開会時点で作るテーブルが分散するよう名簿等で指定する。

#### ③ 名簿 申込み団体別掲載ではなく、

ア 全体五十音順

イ 所属団体がある程度まとまる掲載順

のいずれかが望ましいとの意見があったが、サンプルを制作し次回に決めることとする。

#### ④ 協力会員に対し、

ア パンフレット展示

イ PRの時間設定

ハ 紹介員の配置 等を検討する。

### 4 次回の打合せ

11月10日(月) 10時～

ア 来賓の希望

イ 改善点の検討

## ■事業報告

### 【技術講習会】

実施日時：平成 26 年 10 月 24 日（金曜日）13 時 30 分～16 時 30 分

場所：静岡市産学交流センター プレゼンテーションルーム

受講者：71 名 参加者：72 名（事務局 1 名）

静岡県 9 名、静岡市 6 名、富士市 2 名、正会員 23 名、賛助会員 27 名  
設備協会 4 名

第一部演題・・・『最近の消防法改正とその指導』

講師：静岡市消防局 消防部査察課 消防同意係 副主幹 植竹秀夫様。

ホーチキによる最新消防機器の紹介。

第二部演題・・・『建築物省エネルギー性能表示制度について』

講師：株式会社確認サービス静岡支社 副支社長 脇田浩二様。

### 総評

静岡県庁をはじめ各市の関係職員様、賛助会員、正会員の多くの出席をいただき最新情報の提供を行ないました。

第一部講習では、スプリンクラー設置基準の見直しをはじめ広範囲型 2 号消火栓設置推進などの講義

第二部講習では、省エネルギー性能表示（BELS）の解説及び入力シートへの入力の仕方と細かいところまで、とても有意義な講習会となりました。

講習会にご参加の皆様、お忙しい中多数のご出席ありがとうございました。

当委員会では今後この様な有意義ある講習会を開催していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

技術委員一同

平成26年度技術講習会出席者名簿

日 時:平成26年10月24日(金)13:30～

会 場:静岡市産学交流センター

プレゼンテーションルーム(ペガサート6階)

(順不同、敬称略)

| No | 所 属                  | 氏 名    | No | 所 属                | 氏 名    |
|----|----------------------|--------|----|--------------------|--------|
| 1  | 静岡県 財務局設備課           | 石田 高久  | 37 | セルコ(株)             | 橋詰 歩   |
| 2  | 静岡県 財務局設備課           | 石川 達也  | 38 | アイシン精機(株)          | 松井 一憲  |
| 3  | 静岡県 財務局設備課           | 村瀬 伸哉  | 39 | ニッタン(株)中部支社        | 齋藤 勉   |
| 4  | 静岡県 財務局設備課           | 石黒 義英  | 40 | マスプロ電工(株)          | 大野 秀典  |
| 5  | 静岡県 財務局設備課           | 山口 進吾  | 41 | 静岡ガス(株)            | 磯部 智明  |
| 6  | 静岡県 財務局設備課           | 杉山 博教  | 42 | 静岡ガス(株)            | 神谷 俊之  |
| 7  | 静岡県 財務局設備課           | 内山 武志  | 43 | 静岡ガス(株)            | 秋田 信行  |
| 8  | 静岡県 財務局設備課           | 中野 俊一  | 44 | 静岡ガス(株)            | 寄松 一   |
| 9  | 静岡県 財務局営繕工事課         | 鈴木 宏隆  | 45 | 静岡ガス(株)            | 藤田 和也  |
| 10 | 静岡市役所 文化振興課          | 岡田 香寿人 | 46 | 静岡ガス(株)            | 山口 晋   |
| 11 | 静岡市役所 文化振興課          | 野口 翔太  | 47 | 静岡ガス(株)            | 多田 克也  |
| 12 | 静岡市役所 教育施設課          | 後藤 知史  | 48 | 静岡ヤンマー(株)          | 辻 智之   |
| 13 | 静岡市役所 教育施設課          | 松村 道臣  | 49 | MEサポート             | 佐野 富士雄 |
| 14 | 静岡市役所 都市局建築部設備課      | 岩崎 祐樹  | 50 | (有)コバヤシ設備設計事務所     | 小林 康秀  |
| 15 | 静岡市役所 都市局建築部設備課      | 赤堀 慎之介 | 51 | (有)コバヤシ設備設計事務所     | 古川 永泰  |
| 16 | 富士市役所 建設部施設建築課       | 山田 浩佑  | 52 | 環設備設計事務所           | 山本 晋也  |
| 17 | 富士市役所 都市整備部住宅政策課     | 高橋 智太  | 53 | (有)総合設備計画事務所       | 川端 猛真  |
| 18 | (株)三ツ星工業             | 今井 博巳  | 54 | (有)ナガノ設備設計事務所      | 永野 靖子  |
| 19 | (株)大和工機              | 望月 克洋  | 55 | (有)モア設備設計事務所       | 村松 宏   |
| 20 | (株)大和工機              | 國松 昂平  | 56 | ナナミ電気設計            | 名波 睦生  |
| 21 | 東洋設備(株)              | 中村 幸司  | 57 | (株)PLAN-Gエンジニアリング  | 横山 純也  |
| 22 | 鈴与建設(株)              | 吉川 浩司  | 58 | (株)フレームアーツ         | 大塚 優   |
| 23 | ダイキンHVACソリューション東海(株) | 曾根 進   | 59 | (株)フレームアーツ         | 植田 和孝  |
| 24 | ダイキンHVACソリューション東海(株) | 釜下 禎広  | 60 | (有)セイブ設備計画         | 神谷 保孝  |
| 25 | 三菱電機住環境システムズ(株)      | 天野 重明  | 61 | (有)セイブ設備計画         | 増田 美晴  |
| 26 | 三菱電機住環境システムズ(株)      | 松永 敏行  | 62 | 設備設計KAI            | 甲斐 裕士  |
| 27 | 三菱電機住環境システムズ(株)      | 森下     | 63 | 山森建築設備設計事務所        | 山森 繁   |
| 28 | 日管(株)                | 後藤     | 64 | (株)エスエスシー          | 齊藤 隆幸  |
| 29 | 旭産業(株)               | 近藤 行正  | 65 | 村上設備設計事務所          | 村上 善洋  |
| 30 | (株)朋電舎               | 鈴木 辰徳  | 66 | 村上設備設計事務所          | 望月 滝次  |
| 31 | 三洋静岡設備(株)            | 久保田 豊  | 67 | (合)ウエダ建築設備事務所      | 植田 賢司  |
| 32 | 三洋静岡設備(株)            | 増田 亮   | 68 | (有)アドイン設計          | 三ツ井幹雄  |
| 33 | (株)シズデン              | 野崎 裕幸  | 69 | (有)アドイン設計          | 八木 浩   |
| 34 | (株)シズデン              | 加藤 哲也  | 70 | 美和設備設計室            | 美和 静男  |
| 35 | (株)TOKAI 設備工事部       | 袴田 健   | 71 | 総合建築設備設計事務所 Souken | 中村 健一  |
| 36 | セルコ(株)               | 西川 昌宏  | 72 |                    |        |

技術講習会（H26.10.24(金)） 経費計算書

支 出

| 年月日       | 摘 要         | 内 容           | 金 額     |
|-----------|-------------|---------------|---------|
| H26. 5.19 | 静岡市産学交流センター | 会場使用料         | 21,240  |
| H26.10.20 | 竹茗堂         | 講師土産お茶代       | 10,800  |
| H26.10.24 | しずてつストア     | 出席者お茶（ペットボトル） | 9,745   |
| H26.10.24 | 稲川駐車場       | 駐車代（資料等運搬）    | 200     |
| H26.10.24 | 東芝テック(株)    | 資料コピー         | 99,000  |
| 合 計       |             |               | 140,985 |

\*コピー代      資料枚数   55枚×90部=4,950,枚  
                          4,950枚×@20=99,000円

出席者数   71名

申込者数                      82名

内当日欠席                    13名

事前申込なしの出席者      2名

平成26年度第2回共同事業推進委員会  
会議録

日 時：平成26年9月26日（金）17時～18時  
場 所：（一社）静岡県設備設計協会事務所

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 事

（1）研修旅行について

実施時期 平成27年2月27日（金）～28日（土）に決定

・行先、研修先

1. (株)エヌ・ワイ・ケイ埼玉工場見学（埼玉県蓮田市根金）
2. パソナオーツー 植物育成システム見学（東京都千代田区大手町）

研修は第1日目に行い、2日目は自由行動とする。

2日目の行先については、酒蔵見学を含めて福島さんにアンビアとの交渉と調整をお願いした。（見学先、宿泊先、食事先等）

・予算及び参加者

予算額は例年通り3万～3万5千円位にする。

参加者数も例年通り30名前後の予定。

・その他

・出発日のスタート時間

静岡8:00で東方面の参加者を途中乗車していく。

静岡以西は、アンビア本社のある焼津・吉田あたりをスタート地点とし、途中乗車していく。

・最終見積は12月に出す。

・会員への案内は1月の第2週5日(月)からの週に通知し、締切は1月末日とする。

出席者 設備協会 渡辺、木村、竹内、福島（事務局）

設備設計協会 佐野、三ツ井、山森、川端、市川（事務局）

一般社団法人静岡県設備設計協会  
平成26年度第4回広報委員会  
次 第

日 時：平成26年9月12日（金）  
16時30分～

場 所：（一社）静岡県設備設計協会事務所

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 事

（1）広報誌送付後の修正事項の報告について

- ・修正等連絡のあったもの・・・7件（別紙）

（2）広報誌「風とあかり」50周年記念誌について

- ・出版計画工程について

（3）その他

4 閉 会

※出席者： 神谷保孝、川端猛真、甲斐裕士、後藤利基  
中山 巧、手塚正一、福嶋健二、藤井裕典

欠席者： 長田武士、野崎裕幸



「風とあかり」 36号修正事項等  
(連絡のあった事項)

( H26.8.22 現在)

| 修正事項  | 社名・団体名               | 内 容                                      |
|-------|----------------------|------------------------------------------|
| 送付停止  | はまなこ病院               | H25.3.14 閉院のため                           |
| 送付停止  | 東海大学開発工学部            | H 2 6 年度学生が卒業後閉鎖のため (すでに学生の募集はしていない)     |
| 送付停止  | 東海大学短期大学部<br>図書館     | 書庫狭隘のため                                  |
| 住所変更  | (株)キッツ東海営業所          | ビル内フロアが変更 3 F → 8 F<br>住所・ビル名は変更なし       |
| 住所変更  | (株)ノーリツ静岡支店          | 静岡市葵区長沼 703-1→<br>長沼 681-2 ALSOK 静岡ビル 5F |
| 担当者変更 | ミツワ電機(株)             | 旧担当者 宮下→ 新担当者 影山                         |
| 再送付   | 県交通基盤部建設支援<br>局工事検査課 | 落丁本が送付されたので再送付とした                        |

平成26年度広告料一覧

(平成26年9月30日現在)

| 番号 | 広告主                  | 広告主担当  | サイズ        | 金額        | 請求日  | 入金日   |
|----|----------------------|--------|------------|-----------|------|-------|
| 1  | 大学産業(株)              | 高林 克幸  | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月25日 |
| 2  | パナソニック(株)エコソリューションズ社 | 奥水 光仁  | 裏表紙裏(カラー)  | 100,000   | 8月1日 | 9月16日 |
| 3  | (株)宇式通信システム          | 土橋 博   | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月29日 |
| 4  | (株)ジョットツーリスト         | 流石 秀二  | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月25日 |
| 5  | 静岡ガス(株)              | 多田 克也  | A4 1頁(カラー) | 100,000   | 8月1日 | 8月18日 |
| 6  | (株)ショウエイ             | 辻 寛専務  | 裏表紙(カラー)   | 120,000   | 8月1日 | 8月29日 |
| 7  | 三洋静岡設備(株)            | 増田 亮   | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月18日 |
| 8  | 三菱電機住環境システムズ(株)      | 松永 敏行  | 表紙裏(カラー)   | 120,000   | 8月1日 | 9月19日 |
| 9  | 丸茂電機(株)              | 遠山 政男  | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 9月5日  |
| 10 | パーパス(株)              | 横地 正人  | A4半頁(白黒)   | 50,000    | 8月1日 | 9月30日 |
| 11 | (株)ニューエレキテル          | 寺田 知明  | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月11日 |
| 12 | (株)クーポール会館           | 村松営業部長 | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月11日 |
| 13 | 東芝ライテック(株)           | 高本 伸治  | 1頁(白黒)     | 80,000    | 8月1日 | 8月29日 |
| 14 | フジクリーン工業(株)          | 井村 博志  | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月12日 |
| 15 | (株)エヌ・ワイ・ケイ          | 遠藤 翔太  | A4 1頁(カラー) | 100,000   | 8月1日 | 8月20日 |
| 16 | (株)ケアコム              | 竹内 大介  | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月29日 |
| 17 | セルコ(株)               | 鈴木 永雄  | 1／4頁(白黒)   | 30,000    | 8月1日 | 8月29日 |
| 18 | 中部ガス(株)浜松支店          | 笹川 吾   | A4半頁(白黒)   | 50,000    | 8月1日 | 8月15日 |
|    |                      |        |            |           |      |       |
|    |                      |        |            |           |      |       |
|    |                      |        |            |           |      |       |
|    |                      |        |            |           |      |       |
|    |                      |        |            |           |      |       |
|    | 合 計                  |        |            | 1,020,000 |      |       |

平成26年9月30日

広報誌「風とあかり」第36号  
収支

1 収入

(1) 広告料収入(36号) 1,020,000円  
計 1,020,000円

2 支出

| 年月日      | 相手先            | 内容                     | 金額      |
|----------|----------------|------------------------|---------|
| 26.04.05 | 広報委員           | 第1回広報委員会交通費            | 27,500  |
| 26.04.05 | セブンイレブン静岡南口店   | 第1回広報委員会お茶代            | 366     |
| 26.06.28 | 広報委員           | 第2回広報委員会交通費            | 28,500  |
| 26.06.28 | ウィンダーランドアスティ店  | 第2回広報委員会お茶代            | 1,360   |
| 26.06.28 | レストラン MITA     | 第2回広報委員会会議費(食費)        | 11,000  |
| 26.07.19 | 広報委員           | 第3回広報委員会交通費            | 27,500  |
| 26.07.19 | ウィンダーランドアスティ店  | 第3回広報委員会お茶代            | 1,179   |
| 26.07.19 | レストラン MITA     | 第3回広報委員会会議費(食費)        | 8,000   |
| 26.07.24 | 三日月堂           | 広報誌袋詰め用セロテープ代          | 1,500   |
| 26.08.01 | 日本郵便(株)        | 広報誌郵送代、広告掲載社18社(請求書同封) | 4,500   |
| 26.08.08 | 大日紙業(株)        | 広報誌印刷費                 | 656,100 |
| 26.08.08 | 大日紙業(株)        | 広報誌送付文                 | 8,424   |
| 26.08.08 | 大日紙業(株)        | 角2封筒                   | 25,596  |
| 26.08.11 | 日本郵便(株)        | 広報誌送付代(再送付1,新入会会員1)    | 500     |
| 26.08.11 | NPO 法人スリーアール静岡 | 広報誌発送委託料(袋詰め)          | 17,200  |
| 26.08.11 | 大和タクシー         | じゃんぷへ広報誌送付作業資料引取り交通費   | 1,650   |
| 26.09.11 | ローソン静岡駅西口店     | 第4回広報委員会お茶代            | 368     |
| 26.09.12 | 広報委員           | 第4回広報委員会交通費            | 21,500  |
| 26.09.12 | 静岡グランドホテル中島屋   | 第4回広報委員会会議費(食費)        | 59,037  |
| 26.09.26 | ヤマト運輸(株)       | 広報誌発送メール便代             | 86,510  |
| 合 計      |                |                        | 988,290 |

3 収支差額

1,020,000 - 988,290 = 31,710 円

(案)

静設協第 号  
平成27年3月吉日

賛助会員各位

(一社)静岡県設備設計協会

会 長 三ツ井幹雄  
広報委員長 神谷 保孝

### 協会広報誌「風とあかり」37号発行について

拝啓 早春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本協会の事業活動に対しまして、格別のご指導、ご支援を賜り  
厚く御礼申し上げます。

また毎回の「風とあかり」発行につきましては協賛を頂き重ねてお礼申し上げます。

協会は、平成27年に創立50周年の節目を迎え、11月に記念式典を計画  
しております。

「風とあかり」は、毎年8月頃を目安として発行をしていますが、本年は記念  
式典にあわせて11月の発行を予定しております。

37号は「50周年記念号」として従前とは違う内容で皆様にお届けいたしま  
す。

いつも賛助会員様には広告の協賛を頂いておりますが、37号も記念号という  
事で、以前に増してのご協力をお願いすることとなりますが宜しく願い申し  
上げます。

詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

## 平成26年度各委員会収支一覧(H26.11.30現在)

単位(円)

### 総務委員会

| 項目         | 予算額       | 支出額    | 残額        |
|------------|-----------|--------|-----------|
| 会議費・交通費    | 120,000   | 16,000 | 104,000   |
| 賀詞交歓会      | 420,000   | 0      | 420,000   |
| 会員研修会(忘年会) | 570,000   | 0      | 570,000   |
| 意見交換会      | 30,000    | 40,536 | -10,536   |
| 計          | 1,140,000 | 56,536 | 1,083,464 |

### 技術委員会

(共同事業含む)

| 項目       | 予算額     | 支出額     | 残額      |
|----------|---------|---------|---------|
| 会議費・交通費  | 126,000 | 63,707  | 62,293  |
| 技術講習会    | 91,000  | 140,985 | -49,985 |
| 共同事業視察研修 | 423,500 | 43,366  | 380,134 |
| 計        | 640,500 | 248,058 | 392,442 |

### 広報委員会

| 項目        | 予算額       | 支出額       | 残額      |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 会議費・交通費   | 173,000   | 186,310   | -13,310 |
| 広報誌発行事業費  | 919,000   | 801,980   | 117,020 |
| ホームページ運営費 | 170,000   | 170,100   | -100    |
| 計         | 1,262,000 | 1,158,390 | 103,610 |

## 地区会報告について

### 1 報告期間

平成26年7月25日から平成26年12月11日

### 2 報告内容

#### (1) 東部

#### (2) 中部

##### ○第3回中部地区会

・平成26年10月24日(金)

##### ○第4回中部地区会

・平成26年12月5日(金)

#### (3) 西部

##### ○第2回西部地区会

・平成26年11月28日(金)

| 平成 26 年度 第 3 回 中部定例会 記録                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |      |    |        |    |    | 記録       | 川端 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------|----|--------|----|----|----------|----|
| 日時 平成 26 年 10 月 24 日 (金) 17:30～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |      |    |        |    |    | 場所 協会事務局 |    |
| 出席人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 1 班 | 三ツ井  | 山本 | 甲斐     | 名波 | 川端 | 泊        |    |
| 9人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2 班 | コバヤシ | モア | Souken | 村上 | 山森 | 後藤       |    |
| ／ 12人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |     |      |    |        |    |    |          |    |
| 75%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |      |    |        |    |    |          |    |
| <div>1. 前回議事録の確認(村松) 平成 26 年 7 月 17 日 (木) 開催分</div> <div>2. 理事会の報告(山森) 平成 26 年 7 月 25 日 (金) 開催分</div> <div>・ 静岡県設備設計協会 50 周年記念は行う。(内容は現在進めている)</div> <div>3. 委員会報告</div> <div>■ 総務委員会 (名波)</div> <div>・ 静岡県設備設計協会の忘年会を 12 月 12 日 (金)、焼津松風閣にて 18:30 より開催いたします。上記を 11 月 4 日頃通知する予定です。</div> <div>・ 10 月 16 日 (木) に建築五団体による平成 27 年度賀詞交換会の打ち合わせを行いました。賀詞交換会開催は、平成 27 年 1 月 23 日 (金) 場所はホテルアソシア</div> <div>■ 技術委員会 (中村)</div> <div>・ 10 月 24 日 (金) 13:30 より技術講習会を開催しました。</div> <div>■ 広報委員会 (川端)</div> <div>・ 7 月 19 日 (土) 委員会を開催しました。</div> <div>・ 9 月 12 日 (金) 委員会を開催しました。</div> <div>4. その他</div> <div>・ 県設備課との意見交換会の報告</div> <div>9 月 5 日 (金) にペガサートにて開催しました。</div> <div>・ リービック 2 への移行の件</div> <div>・ 産廃シートの更新の件・・・追加してほしいものがあれば、事務局へ連絡し、まとめて県へ送る。</div> <div>・ 建物見学会の件・・・見学したい建物を協会より県へ伝える。</div> <div>・ 中部地区忘年会について</div> <div>12 月 5 日 (金) 18:30 からを予定 (幹事はモア設備さんで、場所等は一任)</div> <div>(当日 17:00 より中部定例会を事務局にて行います。役員改正の件がありますので全員の出席をお願いします)</div> <div>・ 今後の定例会について</div> <div>2 ヶ月に 1 回を目安に行う。</div> <div>・ 役員改正について他</div> <div>12 月 5 日 (金) 17:00 からの中部定例会内で方向性を決める。</div> <div>・ 共同事業推進委員会の報告</div> <div>7 月 18 日 (金) 委員会を開催しました。</div> <div>9 月 12 日 (金) 委員会を開催しました。</div> <div>・ 研修旅行について、実施時期は平成 27 年 2 月 27 (金)～28 (土)、場所は検討中 (埼玉方面の予定)</div> <div>・ 定例会等の連絡について</div> <div>開封メール返信及び出欠の連絡を必ずして下さい。</div> <div>※次回開催日 平成 26 年 12 月 5 日 (金) 17:00 より 協会事務局</div> <div>定例会終了後場所を移動し、忘年会を行います。</div> |     |      |    |        |    |    |          |    |

|                            |    |      |    |        |    |    |          |    |
|----------------------------|----|------|----|--------|----|----|----------|----|
| <b>平成26年度 第4回 中部定例会 記録</b> |    |      |    |        |    |    | 記録       | 後藤 |
| 日時 平成26年12月5日(金) 17:00～    |    |      |    |        |    |    | 場所 協会事務局 |    |
| 出席人数                       | 1班 | 三ツ井  | 山本 | 甲斐     | 名波 | 川端 | 泊        |    |
| 9人                         | 2班 | コバヤシ | モア | Souken | 村上 | 山森 | 後藤       |    |
| /12人                       |    |      |    |        |    |    |          |    |
| 75%                        |    |      |    |        |    |    |          |    |

1. 前回議事録の確認( ) 平成26年 10月24日(金)開催分  
省略

2. 理事会の報告 (三ツ井) 平成26年 月 日( )開催分  
役員の改選がありますので、地区会からの理事候補選出をお願いします。

3. 委員会報告

■ 総務委員会 (名波)

- ・12/12(金)に会員交流会を開催します。協会員16名、賛助会員16名の合計32名で開催予定ですが、12/5(月)まで参加者を集めますので、今一度会員並びに賛助会員に声掛けをお願いしたい。
- ・建築関係団体の仲宴会(賀詞交換会)を1/23(金)18:00～ホテルアソシアで開催予定。(所属団体毎に集まってしまうので、今年は立食のテーブルNoを事前決めさせて頂く。)

■ 技術委員会 ( )  
報告なし

■ 広報委員会 (川端)  
報告なし

4. その他

・役員改選について  
中部地区会から理事候補2名の選出を行うと共に地区幹事1名を選出する。  
協会の世代交代も見据えて、現理事1名と新規理事1名を選出するようにする。(経験者と次世代の担い手)  
選出方法は無記名投票にて選出する。

選出結果→理事候補: 三ツ井氏・名波氏  
→中部地区幹事: 川端氏

・50周年事業特別委員会について(三ツ井会長より)  
来年度の50周年事業に向けて、今年度中に50周年事業の準備特別委員会を立ち上げたい。  
特別委員会の委員長を山森専務理事をお願いしたい。

・技術者協会講演会のお知らせ  
2/27に技術者協会主催の講演会(TOTO関連)の予定がありますので、設備協会からも案内の配布をお願いしたい。(小林)

※次回開催日 平成27年2月21日(土) 13:30より 協会事務局



(社)静岡県設備設計協会

平成26年度 西部地区会 議事録

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |      |      |      |      |      |      |      |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| 日 時                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 平成26年11月28日（金） 19：00～20：00 |      |      |      |      |      |      | 記録   | 杉山 |
| 出席人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | × 伴                        | ○ 杉山 | ○ 手塚 | ○ 神谷 | ○ 美和 | ○ 鈴木 | ○ 枝村 | ○ 中山 |    |
| 9/10人出席                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | × 斎藤                       | ○ 大塚 | ○ 辻  |      |      |      |      |      |    |
| <p>1 新会員紹介<br/>ツジシステムデザイン 代表 辻 信之 様</p> <p>2 委員会等の報告事項<br/>H26、12月12日（金）に第3回理事会開催。<br/>同日に会員交流会（忘年会）開催される。</p> <p>3 来年度の協会の理事、地区長候補の確認<br/>来年度は、順番通り、手塚氏、鈴木氏、枝村氏、中山氏、大塚氏にお願い申し上げます。<br/>まだ候補のみで、詳しい内容は、決まり次第報告します。</p> <p>4 今後の協会関連行事予定<br/>H26、12月12日（金） 第3回理事会、会員交流会 （焼津市ホテルアンピア松風閣）<br/>H27、1月23日（金）平成27年建築関係団体新年会（静岡市ホテルアソシア静岡）</p> <p>5 次回西部地区開催日<br/>次回は、1月下旬・2月中に開催。</p> |                            |      |      |      |      |      |      |      |    |

## 協会経理について

| 時 期      | 普通預金            | 手元現金         |
|----------|-----------------|--------------|
| 平成26年4月末 | 5, 9 5 1, 8 3 9 | 1 4 0, 2 0 7 |
| 5月末      | 5, 4 8 7, 8 7 8 | 9 6, 4 7 7   |
| 6月末      | 5, 5 4 4, 7 2 0 | 9 4, 2 5 7   |
| 7月末      | 5, 1 4 9, 0 9 6 | 1 1 4, 2 9 8 |
| 8月末      | 5, 0 5 3, 4 4 7 | 1 0 3, 7 7 0 |
| 9月末      | 4, 8 8 4, 8 5 0 | 9 3, 4 6 9   |
| 10月末     | 4, 5 1 1, 8 0 6 | 1 1 8, 4 5 3 |
| 11月末     | 4, 1 1 6, 4 8 0 | 1 1 0, 8 6 7 |
| 12月5日現在  | 4, 1 0 0, 0 5 4 | 1 0 6, 0 4 3 |

(報告事項6)

## ゴルフ部会の幹事交代について

## 会員交流会（忘年会）会計について

本日開催の忘年会について、会費収入は578,000円であるが、費用について、602,540円が見込まれる。(宿泊費、宴会費)  
不足額については、総務委員会の予算から支出したいので了承をお願いしたい。

## 協会ホームページ「会員紹介」について

協会のホームページの「会員紹介」をクリックすると「正会員紹介」が表示される。東部・中部・西部の地区別に個々の事務所・代表者・所在地・電話番号が掲載されているが、事務所名をクリックするとさらに詳しく紹介するページが表示される。(顔写真、URL、E-mail、業務内容、主要実績、マップ等) このページについては、現在正会員の約半数が表示しているが、より多くの正会員の表示ができるようにしたい。

また、写真・主要実績等について内容が古くなっているものについては新しい内容に修正したい。

修正については、事務局に新しい内容を送れば事務局で修正可能である。

安心・快適な環境づくりをお手伝いいたします。静岡県設備設計協会



一般社団法人

静岡県設備設計協会

小 中 大

054-284-3088

FAX:054-284-3095

トップページ

設備設計とは?

協会案内

会員紹介

協会スケジュール

お問い合わせ

## 会員紹介

トップページ > 会員紹介

### 正会員一覧

東部地区

中部地区

西部地区

賛助会員

#### 東部地区会員

| 事務所             | 代表者    | 所在地                                      | 電話番号         |
|-----------------|--------|------------------------------------------|--------------|
| 合同会社 ワエダ建築設備事務所 | 福田 賢司  | 419-0205 富士市天鰐1442-1                     | 0545-71-7237 |
| (有) オサダ設計       | 風田 武士  | 412-0046 御殿場市松土沢1157-748                 | 0550-88-5911 |
| 佐々木設備設計事務所      | 佐々木 哲男 | 416-0945 富士市宮島540-6                      | 0545-61-8965 |
| 志賀建築設備設計事務所     | 志賀 正紀  | 417-0061 富士市伝法2320-8                     | 0545-52-6367 |
| (有) ナガノ設備設計事務所  | 永野 靖子  | 410-0815 沼津市南本郷町8-31                     | 055-932-8271 |
| MEサポート          | 佐野 富士雄 | 416-0921 富士市水戸島1-6-35<br>エンゼルハイム富士参事館904 | 0545-60-0020 |

#### 中部地区会員

| 事務所                   | 代表者    | 所在地                                    | 電話番号         |
|-----------------------|--------|----------------------------------------|--------------|
| 鹿比ー・コンセプト             | 泊 真吾   | 427-0012 島田市鶴島1219-16                  | 0547-54-4898 |
| 設備設計KAI               | 甲斐 裕士  | 421-1131 藤枝市調部町内谷1470-8                | 054-667-3825 |
| 機設備設計事務所              | 山本 晋也  | 420-0961 静岡市葵区北4丁目17番1号                | 054-247-2907 |
| (有) コバヤシ設備設計事務所       | 小林 茂秀  | 421-0101 静岡市駿河区向敷地304-5<br>ロアール向敷地202号 | 054-257-3588 |
| 師アトイン設計               | 三ツ井 幹雄 | 424-0826 静岡市清水区万世町1-6-26               | 054-352-4982 |
| (有) 総合設備設計事務所         | 川端 猛真  | 424-0871 静岡市清水区上原2-1-39                | 054-340-3105 |
| 総合建築設備設計事務所<br>Souken | 中村 健一  | 422-8076 静岡市駿河区八幡5-7-24                | 054-282-7387 |
| オナミ電気設計               | 名波 睦生  | 421-0303 藤原郡吉田町片岡60-6                  | 0548-88-3082 |
| (株) PLAN-Gエンジニアリング    | 後藤 利基  | 426-0201 藤枝市下蔵田395-3<br>メゾンリビット201     | 054-648-1001 |
| 村上設備設計事務所             | 村上 善洋  | 426-0082 藤枝市瀬古3-20-14                  | 054-644-0727 |
| (有) モア設備設計事務所         | 村松 宏   | 420-0871 静岡市葵区駿府1-20-16                | 054-251-6558 |
| 山森建築設備設計事務所           | 山森 繁   | 424-0055 静岡市清水区吉川762-4                 | 054-345-5857 |

空調、給排水衛生、電気設備  
等に関するご相談は  
お気軽にどうぞ

相談  
無料

無料設備相談室  
ご相談はこちら

トップ

設備設計とは

協会案内

分煙相談

会員紹介

賛助会員

協会スケジュール

設備推奨リスト

お問い合わせ

リンク

サイトマップ

協会正会員  
証とあがり

正会員専用室  
ログイン

入会・退会  
会員情報変更

お問い合わせ

Contacts Us

054-284-3088  
FAX:054-284-3095

メールでのお問い合わせ

西部地区会員

| 事務所            | 代表者      | 所在地                                 | 電話番号         |
|----------------|----------|-------------------------------------|--------------|
| イーグル設備設計       | 枝村 彰     | 421-0511 牧之原市片浜3380-18              | 0548-52-5134 |
| エル設備企画         | 中山 巧     | 421-0421 牧之原市稲江1388-1               | 0548-22-6638 |
| (株) エスエスシー     | 藤藤 隆幸    | 432-8051 浜松市南区若林町375                | 053-440-0371 |
| 杉山設備設計事務所      | 杉山 敬     | 438-0815 磐田市巾田621-1                 | 0538-34-4349 |
| (有) セイブ設備計画    | 神谷 保孝    | 435-0006 浜松市東区下石田町1403              | 053-421-5501 |
| (株) セイブ設計      | 手塚 正一    | 433-8114 浜松市中区葵東1-8-50              | 053-437-4110 |
| ツジシステムデザイン     | 辻 偏之     | 434-0042 浜松市浜北区小松346-7 マ<br>ルキビル2-B | 053-571-9320 |
| (株) パブリック設備研究所 | 伴 翼二     | 432-8021 浜松市中区佐鳴台2-9-33             | 053-447-9131 |
| (株) フレームアーツ    | 担当: 大塚 俊 | 432-8012 浜松市中区布橋2-3-36              | 053-450-4153 |
| 寒和設備設計室        | 美和 静男    | 438-0039 磐田市東新町2-14-9               | 0538-34-6399 |
| (有) 洋設計システム    | 鈴木 洋之    | 435-0036 浜松市南区渡瀬町804-5              | 053-464-6300 |

[▲ ページの先頭へ戻る](#)

[トップ](#) | [設備設計とは](#) | [協会案内](#) | [分理相談](#) | [会員登録](#) | [協会スケジュール](#) | [設備関連リスト](#) | [お問い合わせ](#) | [リンク](#) | [サイトマップ](#)

一般社団法人 〒422-8062 静岡市駿河区堀川1丁目1-32 グランドワールド静岡Ⅱ 302号  
 静岡県設備設計協会 TEL: 054-284-3088 FAX: 054-284-3095 Email: [sepa@po4.across.or.jp](mailto:sepa@po4.across.or.jp)

Copyright © Shizuokaken Equipment Planner Association. All Right Reserved.

安心・快適な環境づくりをお手伝いいたします。静岡県設備設計協会



一般社団法人

静岡県設備設計協会

小中大

054-284-3088

FAX:054-284-3095

[トップページ](#)

[設備設計とは?](#)

[協会案内](#)

[会員紹介](#)

[協会スケジュール](#)

[お問い合わせ](#)

## 会員紹介

[トップページ](#) > [会員紹介](#) > 山森建築設備設計事務所

### 山森建築設備設計事務所

代表者 山森 繁  
所在地 〒424-0055 静岡県清水区吉川762-4  
TEL 054-345-5857  
FAX 054-345-5917  
URL  
E-mail



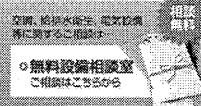
#### 業務内容

建築設備（機械）設計・積算・監理業務

#### 主要実績

- ・志太橋原地区新土木事務所新築工事 RC4F
- ・岡津中学校校舎棟・体育館棟・附属棟新築工事 RC3F
- ・特養老人ホームあすなろの家・ケアハウス清水新築工事 RC3F
- ・一般分譲住宅ビューポート清水新築工事 RC8F

#### マップ



[トップ](#)

[設備設計とは](#)

[協会案内](#)

[分煙相談](#)

[会員紹介](#)

[賛助会員](#)

[協会スケジュール](#)

[設備推奨リスト](#)

[お問い合わせ](#)

[リンク](#)

[サイトマップ](#)



正会員専用室

[ログイン](#)

[入会・退会](#)

[会員情報変更](#)

[お問い合わせ](#)

Contact Us

054-284-3088  
FAX:054-284-3095

メールでのお問い合わせ

[ページの先頭へ戻る](#)

[トップ](#) | [設備設計とは](#) | [協会案内](#) | [分煙相談](#) | [会員紹介](#) | [協会スケジュール](#) | [設備推奨リスト](#) | [お問い合わせ](#) | [リンク](#) | [サイトマップ](#)